

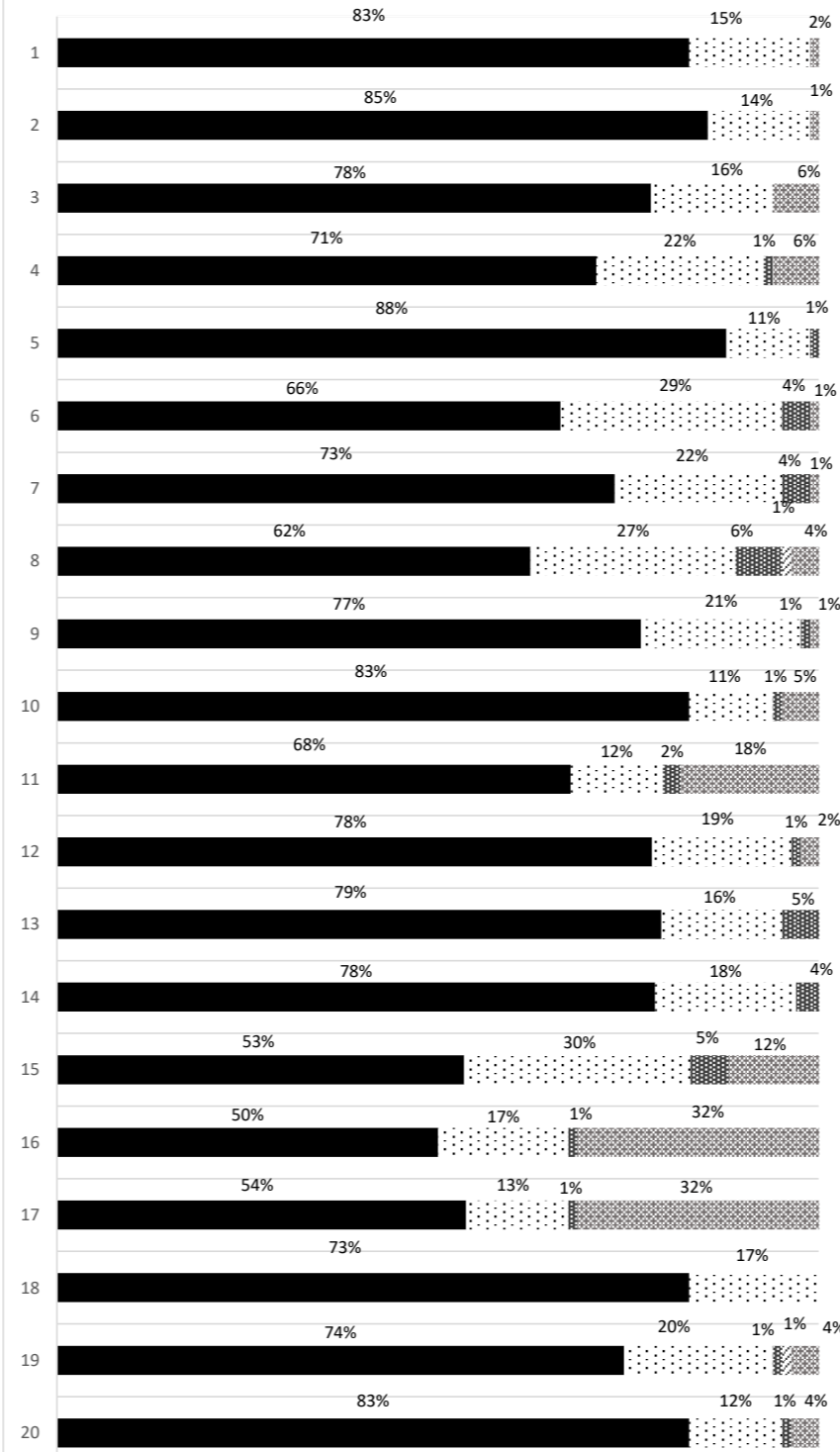
令和7年度 学校評価アンケート集計結果（下期）

【評価基準】
 ◎：Aが70%以上
 且つA+Bが90%以上
 ○：A+Bが80%以上
 △：A+Bが80%未満

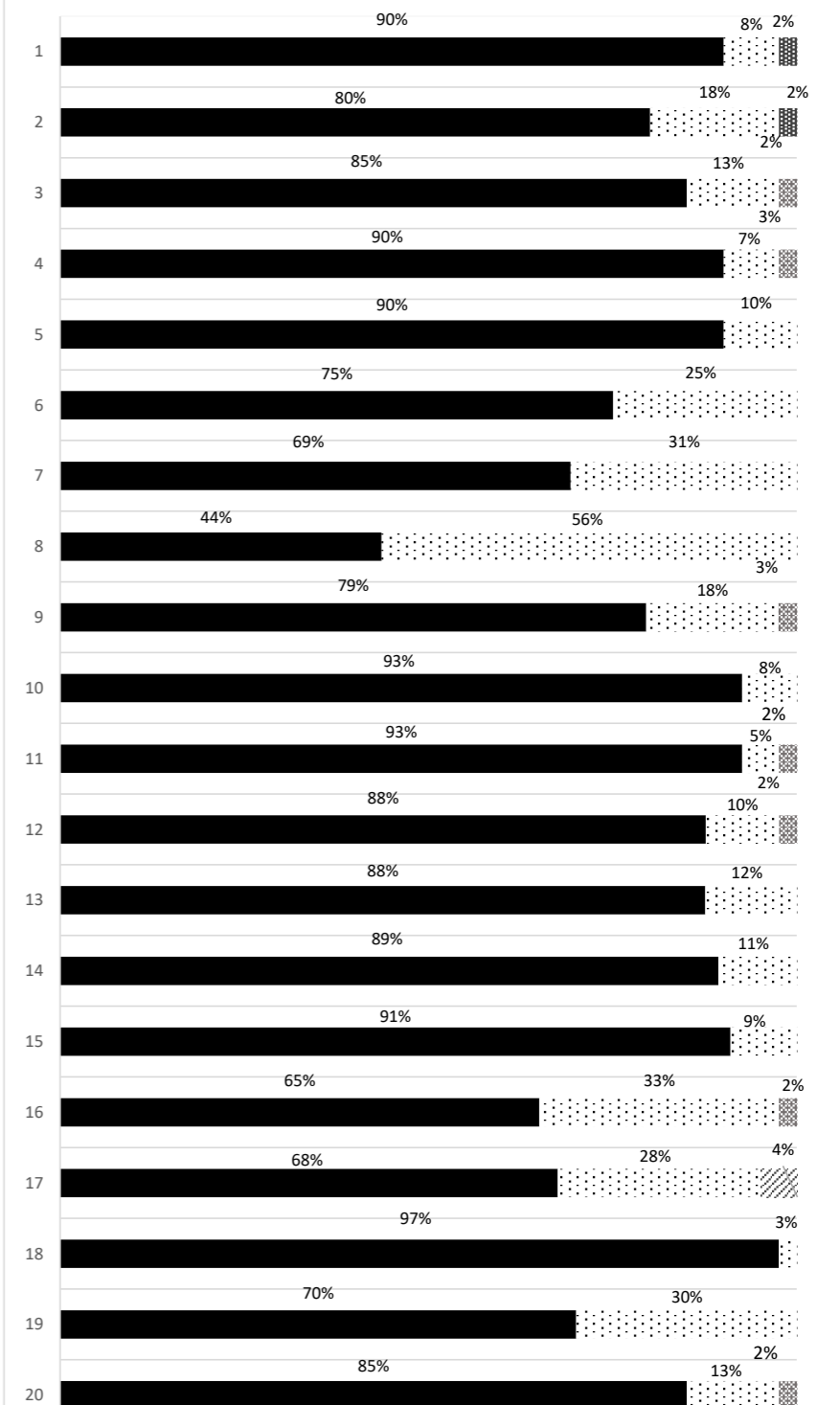
項目	内容	評価	上期比	A+B(%)	
				上期	下期
安心・安全	1 学校は、子供が安心して学校に行くことができるように努めている	◎		99%	98%
	2 学校は、子供が健康で安全に過ごせる環境づくりに努めている	◎		100%	98%
学校教育目標	3 学校は、学校教育目標「ゆたかな心」の育成に努めている	◎		96%	95%
	4 学校は、学校教育目標「たしかな力」の育成に努めている	◎		94%	94%
情報発信	5 学校は、学部の様子などを連絡帳や学部だより、ホームページなどで伝えている	◎		100%	99%
資質・能力の育成	6 学校は、自立と社会参加に必要な「生活する力、働く力、人と関わる力」の育成に取り組んでいる	○		96%	97%
授業の充実・専門性	7 学校は、授業内容を工夫し、ていねいな指導を行っている	◎		94%	97%
	8 学校は、一人一人に応じた専門的な教育を行っている	○		95%	93%
	9 学校は、個別の教育支援計画や個別の指導計画を適切に作成し、保護者と共有している	◎		98%	98%
人権教育	10 学校は、子供の人権を大切にしながら指導を行っている	◎		96%	96%
	11 学校は、「いじめ」に対して未然防止や早期発見に努めている	○	↗	80%	85%
進路指導	12 学校は、進路に関する相談や情報提供（進路だより発行、事業所説明会開催など）を適切に行っている	◎		97%	97%
保護者との連携	13 学校は、保護者の相談に適切に対応し、保護者と連携・協力ができている	◎		98%	97%
交流及び共同学習	14 学校は、居住地校交流など、地域の学校と交流活動を積極的にしている	◎		95%	98%
事業所との連携	15 学校は、卒業後の生活を見すえ、地域の福祉事業所と積極的に関わっている	○	↘	98%	89%
センター的役割	16 学校は、小学校や中学校等の教育相談に応じたり、研修の講師を務めたりするなど、地域の学校に貢献している	△		79%	77%
教職員の働き方改革	17 学校は、勤務時間や休暇の取得への配慮、日課や学校行事の工夫など、働き方改革に努めている	△	↗	70%	76%
開かれた学校	18 授業参観や学校行事（運動会、秋まつり、持久走大会など）は、子供や学校を理解する機会となっている	◎		100%	100%
選ばれる学校	19 子供たちの学校生活は充実している（職員） 学校生活は、子供の成長の様子から充実していると感じている（保護者）	◎		96%	96%
	20 本校で教えることにやりがいを感じている（職員） 子供にとって本校を選んでよかったと感じている（保護者）	◎		97%	96%

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない

保護者（回答率87%）



職員（回答率100%）



【分析と対策】

項目番号	分析	対策・方向性（★令和8年度上期の重点取組事項）
1~6, 9, 10, 12, 14, 18	保護者、職員ともA+B評価が90%以上であり、日々の取組が評価されたと思われる。	今後とも校長のリーダーシップのもと、学校教育目標達成のため、職員一丸となって取り組んでいく。
◆7, 8	上期に比べ、トータルで1%向上した。しかし、保護者にCやD評価があるため、個別対応が求められる。	★研究部主導のもと、授業研究会を行ったり、外部講師を招聘したりして、職員の専門性向上を図るとともに個別最適な支援を進めていく。
◆11	上期に比べ5%向上した。PTA総会で学校の取組を公表したことが向上に要因していると思われる。	生活指導部主導のもと、子供たちの学校生活をしっかり見届け「いじめ」の未然防止や早期発見、早期対処に努めていく。
13	保護者、職員とも評価が高かった。しかし、保護者の回答にC評価があったため個別対応が求められる。	★進級や環境の変化に伴い、年度始めは保護者の不安が予想される。4月の家庭訪問や懇談を通して、保護者の意見にきちんと耳を傾け、連携・協力を図りながら教育活動を進めていく。
15	上期に比べ9%低下した。高等部だけの調査のため、数値の変動が大きいことが要因している。	進路指導部主導のもと、学校が各事業所と綿密に関わっていることを進路便りやホームページ等で発信していく。
◆16	上期に比べ2%低下したが、コーディネーター便りやPTA総会で啓発することができた。	支援部主導のもと、本校が八代管内の学校のセンター的な役割を担っていることをPTA総会や便り等で発信していく。
◆17	上期に比べ6%向上した。PTA総会で啓発したことが向上の要因と思われる。	★事務整理日や教師学びの日の設定について、保護者にPTA総会等で説明して理解を図り、教師の働き方改革を推進していく。
19, 20	保護者の回答にCやD評価があった。個別対応が求められる。	保護者が子供の成長を感じ、本校を選んで良かったと思えるように合意形成を図りながら、子供に個別最適な支援をしていく。

◆の項目は、下期の重点取組事項